東名高速道路 裾野～沼津間本線 道路照明

所 在 地：静岡県裾野市～沼津市
施　　主：日本道路公団東京管理局
設　　計：東エン（株）
施　　工：米沢電気工事（株）
竣　　工：平成15年3月

冬期の安全走行を目的とした高速道路の本線照明。
ドライバーに対するグレア低減により走りやすい照明環境を提供するとともに、天空への漏れ光をカットし、周辺環境にも配慮しています。

降雪時の視界確保等、冬期の安全走行に対応

本施設は、東名高速道路における御殿場地区の冬期雪氷対策強化として、沼津IC～裾野IC間に本線照明を設置することにより、降雪時のチェーンベースとしての運用ならびに運転視界の確保及び路面凍結等による交通事故発生件数の減少を目指す目的で施工されたものです。

車線数や取付位置により照明器具を選択

本区間では上り線の本線が登坂車線を加えた3車線となるため、2車線用に設計されているTYPE-Ⅵでは一番遠い追越車線に十分な光が届かない現象が生じます。そこで、角度の異なる2種類のポール固定金具を用途に応じて選択することにより光を照射したいところに集中させることができる灯具-S（PREA-road）を採用。12mポールに15度傾けて取り付けることにより、TYPE-Ⅵと設置間隔が同一でありながら所要輝度（1.0cd/㎡）を満足し、最も遠い追越し車線にも十分な光を届かせています。なお、このPREA-roadは従来のガラスグローブに代えて平板強化ガラスを採用することにより、ドライバーに対するグレアを大幅に低減して走りやすい照明環境を提供。また、器具内に後方カットルーバを取り付けて周辺への漏れ光をカットし周辺環境に配慮しています。

裾野バス停付近ではさらにバスレーンが加わり4車線となるため、照明器具の前方にだけ効率的に光を集中させる灯具-BS（PREA-wing）を採用。4車線全体に十分な光を届かせています。また、このPREA-wingは低い位置からでも光を遠くに飛ばすことができるため、照明ポールを設置できない場所では、遮音壁の上部（約5m）から車道を照らしています。

裾野バス停付近から望む東名高速道路の薄暮

裾野バス停付近に設置された道路灯プレア・ウイング（昼間）

灯具-BS

灯具-S

道路灯 プレア・ウイング

道路灯 プレア・ロード

裾野バス停付近から望む東名高速道路の夜景

遮音壁上部に設置されたプレア・ウイング（夜景）

裾野バス停付近から望む道路照明の昼間の状況

遮音壁上部に設置されたプレア・ウイング（昼間）

■主な照明器具一覧

設置場所	器具		ポール	台数	ランプ
	形式・記号	形名			
上り本線照明	灯具-S	HW36303	Pb-12	98	270W高圧ナトリウムランプ
下り本線照明	TYPE-Ⅵ	NHW3601	Pb-12	94	270W高圧ナトリウムランプ
遮音壁	灯具-H	HT4000P	―	18	220W高圧ナトリウムランプ(7台)
					180W高圧ナトリウムランプ(11台)
裾野バス停	灯具-BS	HT4000P-BUS	Pb-12BS	21	360W高圧ナトリウムランプ